

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	きりんのあくびkidsふせ			
○保護者評価実施期間	R 7 年 2 月 1 5 日		～	R 7 年 3 月 1 5 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	5人
○従業者評価実施期間	R 7 年 3 月 1 日		～	R 7 年 3 月 1 5 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R 7 年 3 月 1 9 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士の関係が良好で、協力して業務や育成に取り組む風土がある。	朝礼や終礼で一日の振り返りやフィードバックの共有を行っている。	忙しい中でも学びを継続できるよう、短時間で学べる動画や資料を導入予定。
2	保護者様とのコミュニケーションが円滑で安心して子どもを預けてもらえる環境が整っている。	毎日の送迎時に短時間でも職員が保護者に声をかけ、様子や気づきを伝えるようにしている。	行事の様子などをまとめた記録を定期的に発信して透明性のある情報提供を強化する。
3	一人ひとりに寄り添った支援が行われ、子どもたちが安心して、楽しんで通える雰囲気がある。	小さな変化やサインを見逃さず、職員間で共有して対応する体制がある。 「できたこと」「頑張ったこと」をその場で褒めて、自己肯定感を高める支援を行っている。	保護者とも連携し、「家庭でも笑顔で過ごせる関わり方」を一緒に考える機会をつくる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会や、きょうだい向けのイベントの開催等、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	プライバシーなどの個人情報の関係もあり行えていなかった。	今後はご家族様も参加できるイベントを開催を実現できるように、まずは小規模から開催出来るように事業所内で話し合う。
2	地域との連携が取れていないこと。	戸外活動などで地域から離れて活動することが多かった。	今後はもっと地域に密着した活動も取り入れていきたい。
3	職員の更なる育成。	現場が多忙で育成にかかる時間や余裕がないときがある。	マニュアルやチェックリストの効率化し、毎回ゼロから教える負担を軽減する。